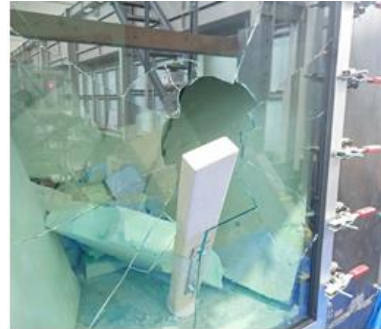


JIS R 3109に規定された加撃体の種類と衝突速度

加撃体の種類	加撃体の質量 (材質)	衝突速度 (m/s)
A	2g ± 0.1g (鋼球)	39.7
B	1Kg ± 0.1Kg (木材)	15.3
C	2.05Kg ± 0.1Kg (木材)	12.2
JD	3.0Kg ± 0.1Kg (木材)	15.3
D	4.1Kg ± 0.1Kg (木材)	15.3
E	4.1Kg ± 0.1Kg (木材)	24.4

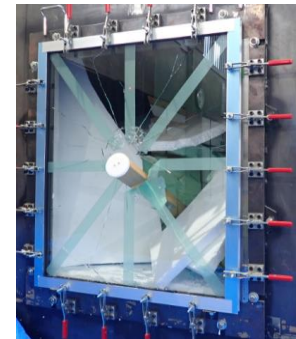
1、フィルム未貼付ガラスへの衝突試験結果 (加撃体C)

* 6mm厚フロートガラスのみ



<結果> 加撃体がガラスを貫通

* 6mm厚フロートガラス+養生テープ貼付



加撃体が養生テープ貼付ガラスを貫通
飛来物に養生テープが効果ないことを確認

2、フィルム貼付済ガラスへの加撃体C試験結果

試験体番号	加撃体	ガラスの種類と厚さ (mm)	加撃位置	350μ厚フィルム	シーリング材増し打ち	衝突試験結果	衝突試験判定	繰り返し圧力载荷試験結果 (最大圧力差: 2490Pa)	繰り返し圧力载荷試験判定
1	C	FL6	中央	有	有	加撃位置の中心から周囲にひびが広がった。加撃位置中心付近は割れたガラスの剥落がみられる。加撃体の貫通なし。フィルムに破れ、開口なし。	合格	ガラス面のひびは周囲に広がり、サッシまで届いた。フィルム面からはがれるガラス面の面積が広がり、剥落するガラス片の量も増加した。フィルムに破れ、開口なし。	合格
2	C	FL6	右下部	有	有	加撃位置の中心から周囲にひびが広がった。加撃位置中心付近は割れたガラスの剥落がみられる。加撃体の貫通なし。フィルムに破れ、開口なし。	合格	ガラス面のひびは周囲に広がり、サッシまで届いた。フィルム面からはがれるガラス面の面積が広がり、剥落するガラス片の量も増加した。フィルムに破れ、開口なし。	合格

<注> 加撃体Cの試験では、JIS R 3109に規定された試験項目で試験体2体を評価し、いずれも衝突試験、並びに繰り返し圧力载荷試験で必要とされる基準を満たしていることから、日本ウインドウ・フィルム工業会は「強風時の飛来物による災害防止性能」の効果が確認できたものと考えています。

衝突試験の結果

試験体1



衝突部分の拡大



試験体2



衝突部分の拡大

